

中野中新聞

★生徒の活躍★

☆新人大会 東播・県他

柔道 県大会

男子団体 優勝

男子個人 50 kg 1位

55 kg 1位

60 kg 2位

66 kg 2回戦

73 kg 2位

81 kg 1位

90 kg 2位

女子個人 52 kg 2回戦

東播駅伝

男子 8位 ↓県大会出場

女子 11位

小野ハーフマラソン

5 km 一般男子 2位

7位

9位

10位

4位

5 km 一般女子 9位

ソフトテニス女子 県大会

蓬萊・伊原 2回戦

ソフトテニス男子 東播大会

1回戦

1回戦

2回戦

2回戦

2回戦

3回戦

卓球 東播大会

男子団体 第3位 ↓県大会

女子団体 ベスト8

男子個人 ベスト8 ↓県

1回戦

1回戦

2回戦

2回戦

県大会

男子個人 1回戦

サッカー 東播大会

2回戦

バレーボール男子 東播大会

1回戦

ソフトボール 東播大会

1回戦

野球 東播大会

ベスト8

☆文化

小野市防火ポスター一般の部

消防長賞 8年



読書感想文兵庫県コンクール

兵庫県学校図書館協議会賞

7年

ひょうご新聞感想文コンクール

入選 9年

奨励賞 9年

奨励賞 9年

奨励賞 9年

奨励賞 9年

北播書道展

金賞 7年

9年

JA書道展

銅賞 7年

7年

みなぎの書道展

吉川高等学校賞 9年

人権フェスティバル(11月4日)

生徒会企画では、私たちの日常の人権意識の低さに気づかされました。また、学年の代表による力強い弁論に惜しみない拍手が送られました。



♪合唱コンクール(12月7日)

コロナ禍により学年別の開催となった合唱コンクールですが、大勢の保護者の方に来ていただきました。生徒たちは限られた練習環境の中、精一杯の努力と工夫を重ねてこの日を迎え、最高の歌を届けようと頑張りました。各学級の仲間の絆が深まり、一生の思い出となりました。

7年生	金賞	7年5組
8年生	銀賞	7年2組
9年生	金賞	8年3組
	銀賞	8年7組
	金賞	9年6組
	銀賞	9年1組
	銀賞	9年3組



◆主な学校行事◆

※変更の可能性がります。

2学期終業式	12月23日
冬季休業	12月24日～1月9日
3学期始業式	1月10日
生徒会引継ぎ式	1月10日
追悼集会	1月17日
小6生活一日体験	2月10日
新入生保護者説明会	2月17日
ハートフル弁当	2月20日
期末テスト	2月21日～24日
卒業証書授与式	3月16日
修了式	3月24日
春季休業	3月25日～4月4日

(その他の行事は決定次第、メール、ホームページ等で随時お知らせいたします。)

7年生だより

田子の浦にうち出でてみれば 白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ

山部赤人

季節は秋から冬に移り変わりました。中間テストが終わり、11月を迎え、11月2日(水)にはわくわくオーケストラ教室を含む校外学習に出かけました。午前中の「カップヌードルミュージアム」での社会見学・体験活動においては、普段店頭で目にしたり、家庭で食することもあるカップヌードルが商品として出来るまでの過程について学習しました。なかでも実際にオリジナルカップヌードルを作ることができた体験活動は、とても貴重な経験となりました。午後からは兵庫県立芸術文化センターにおいて実施された「わくわくオーケストラ教室」に参加しました。映像でしか見たことのないオーケストラによる力強い演奏を体感することで、今まで味わったことのない感動やたくさんの方の新しい発見をすることができました。

12月になり、12月7日(水)には、合唱コンクールが実施されました。最



高の合唱曲を創り上げるという思いを持ち、一回の練習時間を大切にするとともに、一生懸命練習に取り組んできました。合唱コンクール当日は、やり直しがきかないという緊張感を持ち、最後の最後まで諦めずに練習し、自分たちのクラスにしかできない最高の一曲を歌い上げることができました。

8年生だより

2学期の後半は各部活動ごと新人戦の東播大会県や県大会に出場し活躍する姿がありました。また、各クラス毎日指揮者を中心に練習した成果を示した合唱コンクール。昨年より美しいハーモニーを体育館中に響かせてくれました。人権旬間では代表者が学年や全校弁論では8人の代表者が日常の中で得た体験をもとに人権尊重の大切さを訴え、みんなでの考えに共感し人権について理解を深めることができました。キャリア教育では学活の時間に中学卒業後の進路選択や入試のシステムについて学習しました。そして、9年生から生徒会活動の中心を受け継ぐ生徒会役員選挙がありました。年明けから本格始動となりますが、この学年が学校の主役と良き伝統を受け継ぎ地域に誇れる生徒会活動をしていきましょう。

年が明ければよいよ受験生と呼ばれる一年が始まります。8年生の3学期は9年生の0(ゼロ)学期とも言われます。三者懇談で先生や保護者の方からもらった助言を活かし充実した冬休み。3学期を過すしていきます。

9年生だより

2学期では、体育祭や合唱コンクールなど中学校生活最後のイベントがたくさんありました。体育祭では、9年生としての力強い応援。ハフォーマンスを見せ、後輩によき伝統を残すことができました。合唱コンクールでは、どのクラスが優秀賞に輝いてもおかしくないほどのハーモニーを響かせ、歌声で感動をあたえることができました。行事を乗り越えるたびに大きく成長する姿を見ることができうれしく思っています。

さて、2学期が終わりました。三者懇談で自分の進路に向けての決意が固まったと思います。後は、やるべきことをやり遂げるだけです。この冬休みが実力を伸ばす最後のチャンスです。3学期は、受験に向けての準備期間でゆとり勉強に取り組む時間を確保することが難しくなります。だからこそ、とても短いですがこの冬休みに全力で勉強と向き合い、実力を高められるようにしましょう。【なぜ成る 為さねば成らぬ 何事も】です。ラストスパート頑張りましょう。

小野市立小野中学校長

駒田 茂

〇2学期を終えて

長かった2学期でしたが、無事に終業式を迎えることができました。9月は体育祭と市内新人戦、10月は東播新人と人権旬間、11月の合唱コンクールイバル、そして12月の合唱コンクール。生徒会選挙と毎月のように大きな行事がありました。すべての行事を無事に終えることができ、大変うれしく

思っています。

なかでも、体育祭で全校生が一つになれたこと、合唱コンクールでの心地よいハーモニーは本当に感動しました。そして、どの行事も大きな成果を収めることができたのは、生徒のみなさんの頑張りや指導に当たられた先生方ありがとうございます。

さて、11月にクロームブックを使って生活学習実態調査をしましたが、集計結果を見ると、大半の生徒が将来の夢や目標を持っており、学校生活を楽しく感じてくれていました。また、睡眠時間の確保や交通ルールをしっかりと守っている生徒の割合も増えていました。

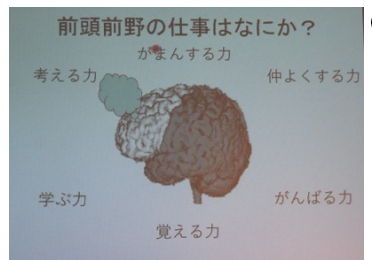
その反面、非常に心配な項目がありました。それは、1日のテレビやYouTubeを見る時間が、5月の調査より少し改善してはいましたが、約4割が2時間以上見ており、そのうち1割が4時間以上も見ています。インターネットをする時間についても同様の結果が出ていました。そして、保護者アンケートからは、家庭内で決めたスマホのルールを約4割があまり守れていないようです。

さて、みなさんは、川島隆太先生の講演会に参加したと思います。前頭前野を鍛えて、将来の夢をかなえる力を身につけようというお話です。その概要を思い出しましょう。

【将来の夢をかなえる力】

- ①ものを考える力
- ②がまんする力
- ③友達と仲よくする力
- ④がんばろうとする力

- ⑤ものを覚える力
- ⑥学ぶ力



前頭前野は 将来の夢をかなえる力をはぐくむ部分

【前頭前野をはたらかせるにはどうするか】

- ①声に出して本を読む
- ②手で書いて計算をする
- ③手で作文を書く
- ①②③のことをすると前頭前野が活発に活動します。

▼ゲームをする

YouTubeを見る(スマホを使う) これらの活動の時は前頭前野は活動しません。

さらに、

「単語調べをしているときの前頭前野の活動」の実験では、単語の意味調べを、スマホでしたときと辞書を使ったときの脳の活動を調べました。

スマホで調べたとき、効率はいいが、前頭前野は働いていない。

つまり、スマホで調べた単語は、後でテストをしても思い出せない。

何か調べものをするときに、理解だけできればいいのであればスマホやタブレットを使っても良いのです。ただ調べたことを覚えて学習したいと思ったら、教科書や辞書を使って調べないと、脳には記憶としては残らないということをおきましよう。

【スマホを使う時間とテストの点数の関係(小学4年生)】

例えば小学校2年生から毎日スマートフォンを使う人は、今5年生だけど、大脳の1/3は小学校2年生のまま。5年生のテストを受けても良い点が取れない。

	スマホを持っていない人	スマホ使用1時間未満	スマホ使用1時間以上
国語	69点	69点	61点
算数	77点	77点	71点

【読書習慣とテストの点数の関係】

読書をしてより良い脳をもった人は成績が上がる。

以上のように、将来の夢を叶えるためには、前頭前野をしっかりと鍛えることが重要です。朝のモジュールで取り組んでいる音読、スピード計算、読書がいかに重要であるかを再認識し、集中して取り組んで欲しいと思います。そして、スマホやゲームを長時間することで脳の成長が止まり、学力が伸びないことが証明されています。普段より自由な時間が減るこの冬休み、「小野中4か条」(使用は1時間以内、夜10時には電源を切る、危険なサイト開かない、悪口を書き込まない)をしっかり守り、読書や家族とのコミュニケーションで前頭前野を鍛えましよう。

	家で読書をする習慣がある人	家で読書をする習慣がない人
国語	69点	61点
算数	77点	72点